キャラクター名
ルーエ・レーベン

プレイヤー名

ベースシークエンス	エレメンタラー	**レベル**	8
アザーシークエンス	エレメンタラー	**性別**	女
出生タイプ		**年齢**	15

出自	(元)一般人	**運命**	贖罪	**瑕疵**	

	初期	成長	他修正	能力値	一般判定成功率
体	3	0	0	3	33 %
知	12	0	0	12	42 %
敏	10	12	2	24	54 %
運	8	0	0	8	38 %

HP	56
MP	103
移動時ウィル	13
戦闘時ウィル	36

装備品		命中	威力	回避	命中	威力	回避	行動	防護
武器1	ソウルシーバー				1	4			
武器2									
防具	ガーディアンコート								6
インナー	鎖帷子								3
アクセサリ	デコレーション							4	
アクセサリ	ストームブリンガー								
能力値＋ボーナス		24	0	2	42	4	10	24	0
アーツ					6				
その他	エナジーショット					2			
総計(1)		24 %	0	2 %	49 %	10	10 %	28	9
総計(2)		24 %	0	2 %	48 %	6	10 %	28	9
総計(両)		24 %	0	2 %	49 %	10	10 %	28	9

所持品			
活動基本装備			
初期(2800)-売却等の調整			
1回目			
2回目			
3回目			
メンタルドリンク			
クルト様にかした			
4回目			

所持金： 1415	預金・借金：

アーツ名	AL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	メモ
レイテント・パワー	1/1	0	インスタント	自身	自身	0	
効果： 1シナリオ1回使用可能　ウィル5点を得る。ハイランダーのみ取得可能。アーツ枠を消費しない							
エリート	1/1	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果 :前提:ベースとアザーのシークエンスが同じ　あなたがレベルアップでアーツを取得する時、同じアーツを一度に2レベル以上取得できない　あなたが奇数レベルの時、取得できるアーツの数が1つ多くなる　このアーツはアーツ取得数にかかわらず取得できる							
エナジーショット	1/5	2	アクション	遠距離	敵単体	2	
効果： 無属性の射撃攻撃を行う。2d6+[ALx2]ダメージ。装備がブースターなら、その攻撃力も乗る							
リーンフォース	1/4	1	インスタント	自身	自身	0	
効果： 次に行う攻撃に属性を付与する。付与する属性はアーツを覚えるときに決めた選択肢から選ぶ　[氷]							
スフィア・エレメンタラー	5/5	x	インスタント	自身	自身	0	
効果： 種別がPEでないエレメンタラーのアーツの対象数を[AL]体増やす。　X:増えた対象数x使用アーツコスト							
グラント・リーンフォース	1/1	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果： リーンフォースを味方単体に使用できるようになる。また効果時間を戦闘終了時まで延長する							
フィールド・オブ・アイス	5/5	7	インスタント	自身	自身	0	
効果 :1ラウンド1回使用可能　すべての氷属性攻撃に+[ALx4]ダメージ。複数回使用しても効果は重複せず、他のフィールドアーツが使用されると上書きされる							
フィールド・オブ・ディスターヴァンス	1/1	0	パーマネント	遠距離	敵全体	0	
効果 :《フィールド・オブ・ファイアLv3》以上《フィールド・オブ・アイスLv3》以上《フィールド・オブ・ウィンドLv3》以上《フィールド・オブ・サンダーLv3》以上のいずれか　あなたが使用した[フィールドアーツ]が適用されている間、相手全体の白兵、射撃回避判定に−5%する							
エレメンタル・センサー	1/3	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果： 半径[50xAL]m内に働いている火、氷、雷、風の力を感知できる							
エネルギー・センサー	1/3	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果： 半径50×[アーツLv]メートル内に働いている、無属性のエネルギーを感知することができる							
フォース・エレメント	1/1	0	インスタント	遠距離	味方全体	0	
効果： 1シナリオ1回使用可能　ウィルを任意の数消費し、[消費したウィルx10]だけMPを回復する							
エレメントエンハンス	3/5	0	パーマネント	自身	自身	2	
効果： エナジーショットやフォアフロントの命中率に+[2xAL]							
エフィシェンシー	1/1	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果： エナジーショットとフォアフロントのコストを-1							
効果：							
効果：							

普通の一般人らしい平穏な毎日→幼いころ自分のせいで親が争いに巻き込まれた→ある貴族に引き取られてそこの当主の従者兼付き人に→没落したけど義理（となにか）で仕え続ける→現在に至る

瑕疵：悲嘆　のはずだった　悲嘆ってなんだ